### 令和6年 市長年頭あいさつ 2023年(令和5年)市政の主な取組 上田市下水道供用開始50周年「六花文」マンホールカード作成、配布 1月 2月 消費喚起応援事業(第5弾)の実施 タクシー事業者「チケットOR」実証事業開始 ・上田市歴史的風致維持向上計画が国に認定 ・SDGsスタートアップシンポジウムの開催 マイナンバーカードを活用したマルチコピー 機を設置したコンビニエンスストアなどで SDGsスタートアップ 歷史的風致維持向上計画 の戸籍証明書の交付を開始 シンポジウムの開催 ・下之条自治会の皆さまと「し尿前処理下水道投入施設に関する公害防止協定」を締結 3月 - 有機物リサイクル施設整備に向け施設周辺の9自治会の皆さまと「施設の設置に関する基本協定」を締結 ・丸子文化会館開館30周年記念コンサートの実施 市政が直面する課題解決に向けた組織改正の実施 4 月 福祉医療費助成制度の支給対象者年齢の拡大(18歳まで) ・出産祝金の給付開始 保育業務支援ツールの本格運用開始 ・上田市看護師確保修学資金貸与制度の創設 組織改正の実施 ネーミングライツ制度のガイドラインの施行



上田城復元資料収集懸賞金

「すべての子どもが笑顔で しあわせに暮らせる上田

10010-

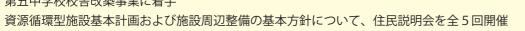
参 上田市長 土曜 陽一

こどもまんなか

応援サポーター



第五中学校校舎改築事業に着手



- ・地域企業のデジタル人材育成に向け東信州DX大学を開校
- 上田市水道創設100周年記念式典の開催

上田城復元資料収集懸賞金制度を創設

第2期上田市商工業振興プランの策定

中学校の照明器具LED化に着手

第五中学校校舎改築事業に着手

新型コロナワクチン令和5年春開始接種の開始

・上田市の図書館開館100周年記念事業の実施

マルチメディア情報センターの機能移転に伴い

「(仮称)市民ICT支援センター整備事業」の実施設計に着手

- 「こどもまんなか応援サポーター宣言」の実施
- ・市の業務の効率化などに向けた生成AIツールの試用
- ・消防団の活動・業務を効率化する「消防団災害活動支援アプリ」の導入
- 長野大学理工系学部の計画が国の大学・高専機能強化支援事業に選定



武石地域自治センター職員を上田市消防団機能別団員に任命 8月

9月 武石地域を主会場とした総合型防災訓練の実施

新型コロナワクチン令和5年秋開始接種の開始

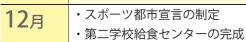




10月 ・丸子デマンド交通の運行開始

11月 国の「脱炭素先行地域」に上田市の計画が選定 箱畳第二期工業団地の売却完了

池波正太郎真田太平記館開館25周年記念セレモニーの開催







武石地域自治センター職員を

上田市消防団機能別団員に任命

「脱炭素先行地域」に選定

### あけましておめでとうございます

### 上田再構築もつと。前へ ≈主体变容≈

ませんが、

一方で、

移行となり、

ナウイル

ス感染症は、

とのつながり

大切に感じる機会ともなり

### 市としての取組

施設」につきましては、昨年3月に建設地の地元で 境影響評価の3番目の段階である「準備書」の手続 ある下之条自治会の皆さまと公害防止協定を締結 まと話し合いを続けており る基本方針を策定し、 画」および周辺に余熱利用施設と公園緑地を整備す を進めるとともに、 域連合の資源循環型施設建設に また、清浄園に代わる、「し尿前処理下水道投入 くり」を2本の柱として、 併せて、「安全・安心な施設」と「地域のま 「資源循環型施設 昨年了月には住民説明会を つきましては、 施設基本計

し、令和7年度中の完成を目指して建設を進めて さらに、可燃ごみの削減と生ごみ堆肥化を目 地区の畜産団地跡地を建設予定地-クル施設」につきましては、丸子

**資源循環型施設建設に向けた** 市としても優先課題に位置付け る 上田地域広

地元関係団体の皆さ

多幸とご健康を心からお祈り申 たちの日常生活に暗い影を落と い令和6年の新春を迎え、 も大きな節目を迎えまし 失ったものの大きさを実感せざるを得 3年以上に 私たち一人ひとりが健康や ますとともに、希望に満ちた 昨年5月に5類感染症 わたるコロナウイルス 市民の皆さまの 上げます。 してきた新型 整備に向けて、 く感謝申

せないごみ処理を行う資源循環型施設の早期建設 に、長年の地域課題となって 上げるとともに、

## 脱炭素先行地域に選定

地域」に上田市の計画提案が選定されま

もに今後の上田のまちづくりに生かしてまいり

コロナ禍で得た貴重な経験と教訓を、皆さまと

計画内容となっております。 る太陽光発電設備や蓄電池の導入などに取り組む り」をテー 民がともに支え合う ゼロカーボン×交通まちづく 業などとの共同提案として、 今回の選定を、 マに、上田電鉄別所線沿線エリアにおけ 2050年ゼロカ D

事業の推進に努めてまいります。 体などのご理解とご協力をいただきなが うえだの実現に向けた大きなステップとし、 市民の皆さま、関係者や地域の事業者・ ボンシテ

上田再構築 も うと、

な組織改正を実施いたしまし つ的確に対応するための体制整備として、 新たな組織体制のもと、出産祝金の給付、 昨年4月には、市が直面する行政課題に迅速か 大規模

医療費助成制度の支給対象者年齢の拡

大(18歲主

## ゼロカーボンシティ実現へ

炭素(ゼロカーボン)社会の実現に向けた取組を、 全国の自治体に先駆けて実現を目指す「脱炭素先行 昨年11月には、国が進める2050年までの脱

上田電鉄株式会社をはじ めとする8者の民間企

もの」と言い、周りや環境を変えようと思っ

主体変容が

まず自分を変えてはじ

自分が変

引き

関係

と施設の設置に関する基本協定を締結するととも 関連施設の地元の皆さまのご理解とご協力に深 昨年3月に施設周辺の9自治会の皆さま

カル鉄道と市 かな社会」の実現への第一歩となると確信しており わることではないか。この「主体変容」により私た 「変わる」と言っています。 今年も活々、清新溌剌に過ご 大切なのは、自分自身を見つめ直し、 松下幸之助氏は、「人生の幸福は、 も何も変わらない。

行動していくことが「明るい豊

引き続き全力で取り組んでまいり 私たちの生活に欠か いた景観面などの環 自分が変わることで周りを変えていくという意味です のではなく、 かのせい」、

結びに、

「何かのせい

環境の

せい」にす

責任の源は自分自身であると考え、

# 上田市

を進めてまいり 金制度創設)の推進など公約実現に向け着実に歩み で)、丸子デマンド 引き続き、 将来を見据えた新生上田のまちづく 上田城跡整備事業(発掘調查、懸賞

「市民力」と「共感力」を生かした市政運営を行って りに向け「上田再構築」に力強く取り組むとともに、 ていきたいと思っております 本年は「主体変容」という言葉を大切

「主体変容」とは、何か困難や問題が生じた時、「誰

広報うえだ 2024.1 2

3 広報うえだ 2024.1

5月

6月